

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	○	現時点では、近隣に住宅街や商店街などがないため地域と密着した活動はまだ十分ではないが、運営推進会議で地域の代表の方に理解を深めて頂いているところであり、今後より一層地域の中に溶け込んでいけるよう努めていきたい。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	○	様々な事例が発生したり行事や活動を行う際や、朝礼(毎日開催)・全体会議(毎月開催)等の場で、管理者を含め職員全員が理念を実践できるよう話し合いや検討の場を設けている。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	○	運営推進会議において説明を行っている。ホームや併設老健の活動への参加の依頼も行っているが、今後より一層交流の場を増やし、外部の方の受入やホーム入居者の地域行事への参加を充実させ交流を深めることによって、ホームの理念の浸透を図りたい。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	○	季節感がある草花の配置や飾りつけなどを工夫し、ビル内にある施設という感じを払拭するよう今後も努力したい。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	○	建物の立地の関係で、地域行事への参加は出来ていないが、運営推進会議の場で区長より老人会や区のボランティア活動への参加を呼び掛けて頂いている。今後は少しずつ入居者が地域行事に参加できるよう取り組んでいきたい。

福岡県 グループホーム 国分

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>介護職員の中での話し合いは行っていないが、地域の方からの介護相談や施設見学などがあつた際には、介護保険制度の説明や状態に応じた近隣施設や社会資源の紹介などの取組みは常々行つてる。</p> <p>今後も相談があれば、常に役立てるよう活動したい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	<p>ホームの全体会議で自己評価及び外部評価の意義を議題として話し合い、理解してもらつた。</p> <p>自己評価及び外部評価の意義や内容については話し合つたものの、具体的な分析や記入は管理者が行つた。今後は全職員に用紙を配布、各自に記入してもらうことによりより具体的に内容や意義について理解してもらうよう取り組みたい。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	<p>会議には必ず住民代表(区長・区評議委員)・市担当者・包括支援センター担当者に参加依頼を行つており、日常の活動の報告を行つているが、今回の自己評価の内容や結果の詳細な報告は行っていない。</p> <p>次回以降、自己評価表を配布し当ホームの現状や取り組み内容に対する理解を深めて頂くよう取り組みたい。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	○	<p>運営推進会議には必ず出席して頂いているが、市担当者へ相談や報告を行う程の事例や問題はまだ発生しておらず、会議以外でのホームの情報提供は行っていない。</p> <p>市担当者へ個別に報告・相談する事例が発した場合には、積極的にその機会を作りたい。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	<p>管理者及び一部職員は地域福祉権利擁護事業や成年後見制度の概要や相談窓口については知っている。過去一度、入居者のご家族が成年後見制度についての質問をされ、当ホームを通じ市社会福祉協議会の担当者から説明を受ける機会を設けたことがある。また、法人内で成年後見制度の勉強会を開催したことがあり、当ホームからも参加した。</p> <p>地域福祉権利擁護事業や成年後見制度についての勉強会などを開催し理解を深めたい。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	<p>高齢者虐待防止関連法に付いて学ぶ機会を持ったことは無いが、入居者が虐待されたりいじめられることが無いよう注意を払っている。</p> <p>当ホームで虐待やいじめが発生した事例は無いが、今後高齢者虐待追防止関連法についての勉強会や話し合いの場を持ちたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居(契約締結)に際し、重要事項説明書や契約書の内容について一文一文細かく説明し、ご家族の理解・納得を得られるよう努めている。また、退所(契約解除)に際しても事前に時間をかけて納得して退所頂いている。</p>	<p>○</p> <p>今後も契約に関する説明には時間をかけ、納得頂くよう取り組んでいきたい。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>特段の機会には設けていないが、都度入居者本人に伺っても特に不満や苦情はみられない。ご家族が面会にいらっしゃった際にも職員が必ず対応し、意見や不満・苦情を聞き取るよう心掛けている。</p>	<p>○</p> <p>意見や不満・苦情の訴えがあった際には、必ず職員間で話し合いを持ち、適切な対処が出来るよう今後とも取り組んでいきたい。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>暮らしや健康状態については、ご家族が面会にいらっしゃった際に必ず報告を行っている。金銭管理については、毎月の利用料請求の際にお小遣い帳の写しを郵送しており、残高及び支出用途を確認して頂いている。職員の異動に付いては、顔写真の掲示は行っているが特段の報告はしていない。</p>	<p>○</p> <p>今後も、入居者の健康状態や金銭管理については現状通り継続していきたい。現在勤務している職員の顔写真は掲示しえているが、異動の報告については特に取り組む予定は無い。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ホーム玄関に意見箱を設置しており、ホーム内にも苦情窓口の明示を行い苦情の表明が行えるようにしている。また、ご家族が面会にいらっしゃった際にも職員が必ず対応し、意見や不満・苦情を聞き取る機会を設けている。</p>	<p>○</p> <p>意見や不満・苦情の訴えがあった際には、必ず職員間で話し合いを持ち、適切な対処が出来るよう今後とも取り組んでいきたい。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月ホームの全体会議を行っており、職員の意見や提案を聞く機会を設けており、業務に反映させている。</p>	<p>○</p> <p>今後も毎月全体会議を開催し、職員の意見を汲み取る機会を持つ。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>入退所や介護相談あるいはホームの行事など職員の勤務・配置には柔軟に取り組んでいる。</p>	<p>○</p> <p>今後も必要に応じ、職員配置には柔軟に対処したい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>基本的に基準以上の職員配置を行っており、休日の希望についても極力応じている。職員の悩みや相談にも極力応じるようにしており、職員の退職を原因とする異動を極力抑える努力はしている。</p>	<p>○</p> <p>職員の退職を原因とした異動が多いため、職員が働きやすいよう勤務条件の改善に取り組み、入居者への影響を最小限に抑えるようにしたい。</p>
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員採用に際しては、性別・年齢その他の理由による採用の制限は一切していない。勤務についても職員の得意分野での能力發揮を尊重して勤務してもらっている。また、社会参加や自己実現の機会を持てるよう、勤務(休日)の希望には極力応じている。</p>	<p>○</p> <p>職員採用について、介護職員としてふさわしい人であれば採用制限は一切行うことは無い。また職員の社会参加や自己実現の機会を持てるよう配慮していきたい。</p>
20	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>人権に関する研修や勉強会等は特に行っていないが、朝礼や全体会議等の場で、折にふれ入居者の人権の尊重についての話題を取り上げることはある。</p>	<p>○</p> <p>人権に関する研修や勉強会等を特に持ったことは無いため、今後そのような機会を持つよう努めたい。</p>
21	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員育成について重要性は十分に理解しているが、十分に取り組んでいるとは言えない。特に若い職員については日常業務の中でOJTを行いその都度指導を行うようにしている。</p>	<p>○</p> <p>研修会や勉強会の開催は思うようにできていないのが現状である。法人の内外を問わず研修や勉強会があり、派遣できる条件が整えば是非参加させたい。</p>
22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流は特に行っていない。(法人内の別のグループホームとはたまに交流する機会はある。)事業者の協議会や連絡会等には特に参加していない。</p>	<p>○</p> <p>機会があれば、同業者との交流については取り組んでいきたい。事業者の協議会や連絡会等への参加は現在のところ考えていない。</p>
23	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>特に取り組んでいることは無いが、職員の悩みを聴いたり、アドバイスをしたりすることは常々行っている。また、職員同士で食事に行くなどは行っているようである。</p>	<p>○</p> <p>職員の悩みの聴き取りや相談に応じることは今後も行っていく。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員の勤務状況に常に關心を持ち、良いところは良い、悪いところは悪いと率直に指摘をし、常に向上心を持って業務に取り組めるよう努めている。</p>	○	<p>今後も職員の業務状況を把握し、向上心ややる気を引き出せるよう働きかけたい。</p>
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
25	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>可能な限り本人から積極的に聴き取りを行い、本人が安心できる環境をつくれるよう努力している。</p>	○	<p>可能であれば、相談から入居までの間に、本人との面談や聴き取りなどを行い、本人の考えていることを聴き取る努力を続けたい。</p>
26	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>家族から積極的に聴き取りを行い、家族が安心できる環境をつくれるよう努力している。</p>	○	<p>家族の聴き取りを行い、困っていることや不安に感じていることなどの聞き取りを必ず行い、信頼関係を築けるよう努めている。</p>
27	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>当ホームの利用につながらなくても、法人の内外を問わず必要と思われる他のサービスを紹介するよう努めている。</p>	○	<p>ホーム開設以来、本人・家族が本当に必要としているサービスを勧めるよう心がけている。</p>
28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>一日体験利用の制度を設けたり、日中遊びに来て頂くなどの対応を行っており、導入には慎重に対応している。</p>	○	<p>本人・家族ともサービスの利用には慎重になるため、導入の時点で本人が職員やホームの雰囲気馴染めるよう配慮をしており、今後も継続していきたい。</p>
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>食事準備や室内清掃・洗濯・買物など、入居者と職員が一緒に取り組めることについては極力一緒に行い、一方的な介護にならないよう心掛けている。また工作・習字・短歌など入居者の得意分野がある場合には、教えてもらったり、一緒に取り組んだりして、入居者が主役となれるよう努めている。</p>	○	<p>職員が一方的な介護を行うことが無いよう配慮し、入居者から学んだり、支え合える関係を築けるよう心掛けている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p> <p>本人の状態を家族に常に報告し情報を共有して、職員と家族と一緒に本人を支えていく関係を築くよう努めている。</p>	○	<p>面会の際に、本人の最近の状態について職員と家族の連絡・報告を行い、共通の意識を持ち、チームとして本人の介護に取り組むよう心掛けている。</p>
31	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p> <p>日常のホームでの生活の中で、家族の心情や対応を折にふれ説明し、本人と家族の関係がより深くなるよう支援している。</p>	○	<p>本人が不穏・不安になったり感情が不安定になり、家族に対して攻撃的な言動が出てきた場合などは、家族の心情や対応などを説明して、本人の誤解や思い込みを解消するよう心掛け、本人と家族がより良い関係が築けるよう支援している。</p>
32	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている</p> <p>買物や散歩に外出できるよう、支援しているが個別に対応するには限界がある。但し、家族や友人・知人などからの電話や面会があった際には、制限を設けておらず、自由に交流できるよう配慮しているが、馴染みの場所への外出や集まり等への参加といったことへの対応は不十分である。</p>	○	<p>家族や友人・知人から電話や面会は自由であるが、馴染みの場所への外出や集まりなどへの参加の個別対応には限界があり、十分には対応できていない。今後は、可能な限り対応できるよう配慮したい。</p>
33	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p> <p>食事時やレクリエーション時など全体で活動する場合は自然な形で職員が中に入り、少人数での談話・交流時等には、遠巻きに見守り、利用者同士が関わり合い、支え合うことが出来るよう努めている。1人で自室にこもっている方がいらっしゃる場合には、本人の状態を考慮した上で孤立しないよう声かけを行っている。</p>	○	<p>全員が一律に活動して頂くのではなく、ある場面では全体で、ある場面では少人数・個別で、無理なく様々な活動が出来るよう援助を行っていききたい。</p>
34	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p> <p>当ホーム退所後他の施設や医療機関へ入られた場合でも、ご家族からの相談などがあった場合には、本人が入居されていた時と同じように対応し、関係を維持している。</p>	○	<p>当ホームのサービス利用経験者はもとより、相談があったがサービス利用に至らなかった方等についても、気軽に相談していただけるような関係を維持できるよう取り組んでいる。</p>
<p><b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p>			
<p>1. 一人ひとりの把握</p>			
35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> <p>本人の性格やこれまでの生活歴など本人・家族から聴き取りを行い、本人の思いや暮らし方の希望・意向の把握は行っており、聞き取りが困難な場合には、本人本位に検討するよう努力しているが、不十分な部分もあり、今後一層積極的に取り組む必要がある。</p>	○	<p>本人・家族からの聴き取りは行っているものの、生活歴や主だったもの以外の趣味嗜好などの聞き取りが不十分であることがある。入居後も本人や家族からの聞き取りを継続し、入居者一人ひとりの思いや意向の把握に努めたい。</p>

福岡県 グループホーム 国分

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居以前の生活歴や生活環境・介護サービスの利用経過は本人・家族・担当ケアマネージャー等から情報を得ている。</p>	<p>○</p> <p>本人・家族・担当ケアマネージャー等からの情報の聴き取りは今後も継続して行っていきたい。</p>
37	<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>日中・夜間を通し1人ひとりの一日の過ごし方や、状態・残存能力の現状について職員1人ひとりが入居者各人の状態を把握し、かつまた朝礼や全体会議等の場で情報を共有しホーム全体で現状を総合的に把握するよう努めている。</p>	<p>○</p> <p>職員各々が入居者の状態の把握に努め、ケース記録の充実や朝礼・全体会議他職員間での情報共有を密にし、入居者現状の総合的把握を図るよう努めたい。</p>
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>			
38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人の現状や過去の生活歴・趣味嗜好を勘案し、職員間の話し合いでまとめた介護計画を家族に提示し、確認・承諾を取った上でホームでの介護計画としている。</p>	<p>○</p> <p>計画を作成する上で前提となる本人の生活歴や職歴・趣味嗜好といった基本情報・属性情報の収集が不十分な面がある。介護計画をより有効なものとするため、特にインテーク段階での情報収集を充実させたい。</p>
39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の期間に応じ計画を見直しており、急激に変化が生じた場合には、その変化に応じた計画を新たに作成し、家族に承認して頂いた上で介護計画としている。</p>	<p>○</p> <p>身体・精神状態の変化に応じ、柔軟に計画を変更して本人の状態にあった計画を作成し、処遇に反映させられるように取り組んでいきたい。</p>
40	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>入居者各人のケース記録を作成し、職員間で情報を共有して入居者の変化に応じられるようにしているが、まだ記述内容やその分析に不十分な点みられ、今後改善していきたい。</p>	<p>○</p> <p>ケース記録の内容を充実させ、計画の変更や見直しに活かせることができるものにしていきたい。</p>
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>			
41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>可能な限り入居者本人や家族の要望には応じており、柔軟な支援が出来るよう努力している。</p>	<p>○</p> <p>入居者本人や家族から要望が出た際には、可能な限り対応できるよう取り組んでいる。また気兼ねなく要望を出して頂けるような雰囲気作りや配慮が出来るよう、取り組んで行きたい。</p>

福岡県 グループホーム 国分

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
42	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>ホームや法人での行事の際、ボランティアの協力を得ることがあり、地域の小中学校の体験学習や介護専門学校・大学福祉科の生徒の実習受入等を行い、交流の場を持てるよう取り組んでいる。</p>	<p>○</p> <p>今後も、実習や総合学習での学生の受入や地域のボランティアやサークル活動等への参加を積極的に行いたい。</p>
43	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>現在、入所者は他のサービス事業者のサービスは利用していない。他の施設や病院の利用が予定されている場合には、事前に話し合いを重ね、サービス利用に関する支援を行っている。</p>	<p>○</p> <p>入居時は、他のサービスの利用は想定していない。退所後、他の施設への入所や入院等が予定されている場合にはそのための支援は今後も行っていきたい。</p>
44	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>運営推進会議への参加は常々お願いしているが、権利擁護や総合的・長期的なケアマネジメント等では協働した事例は無い。</p>	<p>○</p> <p>今後必要に応じ、包括支援センターの協力を仰ぎたい。</p>
45	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>緊急時の受入の問題があり、基本的には入院可能な協力医療機関への受診・往診の支援を行っているが、特段の事情や本人・家族からの要望がある際には、従来のかかりつけ医への受診を支援している。</p>	<p>○</p> <p>協力医療機関への受診も本人の持病・病状に合わせ、専門医の出勤日に受診するなど配慮している。また本人・家族から要望がある際には、従来受診していた医療機関にかかるように配慮するなどの対応を行っている。</p>
46	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>協力医療機関の医師にも認知症に対する理解はして頂いており、必ず職員が同行し、診断や治療の説明・相談を行っている。また、一部入居者については、月2回程度専門医(精神科医師)の往診を頂いている。</p>	<p>○</p> <p>受診に際しては職員が必ず同行し、普段のバイタルの記録や日常の状態・行動・訴えなどを説明し、適切な診断を行ってもらえるよう取り組んでいる。また受診結果や指示については入居者個別のファイルを作成して情報の共有を行い、職員全員が対応できるよう取り組んでいる。</p>
47	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>現在、看護師の職員配置及び契約行っていない。緊急時に併設老健の看護師に相談や協力を仰ぐことはあるが、基本的にはかかりつけ病院の医師の指示を頂くようにしている。</p>	<p>○</p> <p>現在のところ、看護師の配置や契約は計画していない。</p>



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p> <p>入居者が入院した際には、衣料の補充・面会・家族との連絡・医師からの状態説明を受けるなどの対応を行い、本人・家族が安心して入院し治療に専念できるよう支援を行っている。</p>	○	<p>協力医療機関が入院設備を持っているため、医療機関職員と連絡をとり入院中の状態の把握が可能となっており、早期に退院・受入できる体制をとっている。</p>
49	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> <p>入居時に重度化した場合は、医療機関や法人内老健や特養への入所に移行する旨を、入所時にご家族には説明しており、了承頂いている。</p>	○	<p>当ホームは医療連携加算を取る体制をとっていない。入居者の重度化が進んだ場合、医療機関入院や法人内の老健・特養への入所へ移行する旨を入居前に家族に説明し、了承して頂いている。</p>
50	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> <p>当ホームでは終末期での対応を想定していないため、医療機関への入院や老健・特養への入所に移行する説明を行っている。対象となる入居者がある場合には、時間をかけ家族へ状況の説明を行い、移動が予定されるの施設の職員と連携を図りスムーズな利用移行が行えるよう支援している。</p>	○	<p>当ホームでは終末期ケアを想定していない。身体・精神状態の重度化や週末期の対応は、医療機関への入院や老健・特養への入所という形で対応している。</p>
51	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> <p>入居の際は、事前に顔合わせを行ったり、ホームに来て頂くなどの方法をとっている。退所の際は(入院など緊急な場合などを除く)、移動先の職員や家族と情報交換を行い、環境変化のダメージが最小化するよう努めている。</p>	○	<p>入退所の際は、家族・職員間や施設職員間の情報交換を密にして、本人のリロケーションダメージを極力抑えられるよう取り組みたい。</p>
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
52	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> <p>言葉かけや対応等は慎重に行っており、誇りやプライバシーを損ねるような対応は厳に慎んでいる。記録についても家族への公開を念頭に、配慮した記述を心掛けている。</p>	○	<p>入居者に対しては一個人として尊重して対応するよう心掛けている。介助の際にも、自室やトイレ・浴室等へ誘導して介助するなど、入居者の自尊心・羞恥心への配慮を欠かさないよう対応している。</p>

福岡県 グループホーム 国分

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	○	<p>日常の中で些細なことでも入居者の意思決定の場を作り、自己決定がなされる様、取り組んでいきたい。</p>
54	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	○	<p>声かけ・誘導などは行うが、可能な限り本人の意思を尊重し、希望に沿った生活が送れるよう支援していききたい。</p>
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	○	<p>理・美容を利用する際には必ず本人に希望を言って頂き、業者にも可能な限りその意向に沿った対応を行って頂くよう、お願いしている。</p>
56	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>食べ物の嗜好調査は行っているが、献立を立てる作業は職員が行っている。買出し・調理・盛り付け・下膳・食器洗いといった食事に関する一連の作業は、ほぼ職員と入居者が一緒に行っている。</p>
57	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	<p>嗜好品については、可能な限り自宅に近い形で楽しめるよう取り組んでいきたい。</p>
58	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	<p>排泄に問題があるからといって、安易にオムツやリハビリパンツ・尿取りパッドを使用することが無い様、排泄チェックやトイレ誘導・安心パンツ使用を行っていききたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>原則として、入居者9人を4人・5人に分けて交互に(2日に一度)午前中の入浴を行っているが、本人からの希望がある場合にはイレギュラーでの入浴を行っている。夕方や夜間の入浴は職員配置のこともあり対応できていない。</p>	<p>○</p> <p>入浴を希望される方については、希望に沿う形で(午前中のみであるが)対応しているが、入浴拒否がある入居者への対応に苦慮している。スムーズに入浴の応じて頂けるよう取り組みたい。</p>
60	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>明らかに体調不良である場合や虚弱体質の方・昼寝の習慣がある方については、状況に応じて休息や睡眠をとって頂くよう支援しているが、休息や昼寝が逆に夜間の睡眠状態に影響を与える方についてはその限りではない。</p>	<p>○</p> <p>レクリエーションや工作・作業に参加して頂き、日中の活動を充実させることで日中・夜間のメリハリをつけ、昼夜逆転が起きないように取り組みたい。同時に入居者から希望がある場合、本当に休息や昼寝が必要な状態かどうか見極める観察眼を養いたい。</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>入居者各人の能力や好みに配慮し、その場面ごとに役割を担って頂いている。また気晴らしが必要と思われる方にはドライブや散歩・畑仕事に連れ出したり、家族の面会を要請するなど個別に対応している。</p>	<p>○</p> <p>趣味事の道具や物品などある程度は準備しているが、もっと多くの状況に対応できるよう物品のストックを増やし、個別の希望に応じることが出来るようにしたい。またそれに対応できるよう、職員の知識・技術の研鑽にも取り組みたい。</p>
62	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ほとんどの入居者は、金銭管理が出来ないため、金銭の所持や使用の機会を設けていない。</p>	<p>入所者が物品の購入を希望された場合には、買物に同行しお金を使うことを支援することもあるが(ご家族からお小遣いを預かっている為)、基本的に本人にお金を渡し管理してもらうようなことは想定していない。(ご家族には了承済み。)</p>
63	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>夏・冬の気候が極端な場合には、外出は控えるが、気候の良い時期には、散歩や畑仕事・ドライブ・バスハイクなど外出する機会を設けている。但し、必ずしも1人ひとりには対応せず、2～3名に対応するケースも多々ある。</p>	<p>○</p> <p>散歩や畑仕事など外出する機会を設けるよう努力しているが、入居者が拒否したり渋ったりするケースも多く、少人数でも外出できるよう、今後も取り組みたい。</p>
64	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>職員同行での個人が希望する先への個別外出は対応できていないが、家族との外出は出来る限りお願いしている。</p>	<p>○</p> <p>個別での外出希望には応じれないが、事前に聴き取りを行い、バスハイクやドライブという形で外出は行っている。また、ご家族への依頼を行う上でも日常での希望聴き取りを行っていききたい。</p>

福岡県 グループホーム 国分

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や友人への電話や手紙のやり取りは、いつでも応じている。	○	今後も今まで通りの支援を行いたい。
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族や友人・知人の来訪は歓迎しており、気軽に訪問して頂いている。	○	今後も今まで通りの支援を行いたい。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関しては全職員が理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	○	今後も今まで通りの支援を行いたい。
68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかける弊害は理解しているが、ホームが4階建てに建物の中にあり、無断外出を企てる入居者が複数いらっしゃることもあり、玄関の施錠(エレベーターロック)はやむを得ず行っている。(ご家族の了承は得ている。)	○	鍵をかけない暮らしは大切であるが、利用者の安全性・家族の要望を重視し、現状のままの方法をとる方針である。但し、状況に変化があった場合には、鍵をかけない対応を行いたい。
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に本人のプライバシーには配慮しており、入居者の所在や様子などを把握している。安全にも配慮している。	○	今後も今まで通りの支援を行いたい。
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者の身体状況・精神状態に応じて配置を変更する等して、個別に取り組んでいる。	○	今後も今まで通りの支援を行いたい。

福岡県 グループホーム 国分

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>勉強会等は開催していないが、朝礼・全体会議その他折にふれ事故防止に対する取り組みや対応方法について話あっている。防災訓練については、年に2回消防署立会いのもとに避難訓練を行っている。</p>	<p>○</p> <p>今後勉強会を開催したり、外部での研修等に参加して職員全員で事故防止に関する知識習得に取り組みたい。</p>
72	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>急変や事故の際には、隣接する老健の看護師に応援をってもらう体制をとっている。職員への定期的な訓練や勉強会は特に行っていない。</p>	<p>○</p> <p>急変や事故の際、隣接老健の看護師の応援が体制をとっているが、今後応急手当や初期対応の訓練を行っていききたい。</p>
73	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年に2回、避難訓練を行っているが、施設の立地の問題もあり(近隣に住宅が少ない)、地域の協力を得る状況にない。(何かあった際の協力要請は行っている。)</p>	<p>○</p> <p>年2回の避難訓練は今後も継続していく。</p>
74	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>入居時に家族に対し、リスクに関する説明は十分に行っている。また、心身の状況の変化に応じてその都度ご家族に対する説明を行い、職員間でも対応策に関する話し合い・打ち合わせは常に行っている。</p>	<p>○</p> <p>今後も今まで通りの対応を行いたい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎朝、起床時に全入居者のバイタルチェックを行っている。また、日中・夜間の体調の変化や異常については、必ず職員間で共有し必要に応じて随時バイタルチェックや状態観察を行い、対応するようにしている。</p>	<p>○</p> <p>今後も今まで通りの対応を行いたい。</p>
76	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の効用や副作用等の詳細までは正確に把握はしていないが、服薬指導書には目を通して一応の理解はしている。服薬の支援はその都度チェックを行い、病気や症状の変化については気を配っている。</p>	<p>○</p> <p>全職員が服用している薬の効能や目的等を把握できるようにし、服薬の支援や症状の変化の確認については今まで通り対応していききたい。</p>

福岡県 グループホーム 国分

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	○	<p>今後も今まで通りの対応を行いたい。</p>
78	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	○	<p>今後は夕食後のみならず、毎食後の口腔ケアにも取り組みたい。</p>
79	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	○	<p>食事量については把握、記録しているが水運量については大方把握しているものの十分とはいえない。</p>
80	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	○	<p>今後も今まで通りの対応を行いたい。</p>
81	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	○	<p>今後も今まで通りの対応を行いたい。</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
82	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	○	<p>玄関や外観・周囲の雰囲気は如何ともし難いが、ホーム内の雰囲気作りには常に配慮していきたい。</p>

福岡県 グループホーム 国分

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	高速道路が隣接しているが、過剰な音や光等が気になるような不快な状態ではない。共用部分は植物や利用者や職員の飾り付け・作品等を配置し工夫を行っている。	○	建物自体が施設的な印象が強い為、ホーム内の家庭的な雰囲気作りには配慮している。今後も入居者が居心地よく暮らせるよう工夫していきたい。
84	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各居室・共用部分とも十分なスペースを確保しており、1人になったり、少人数で過ごすなど状況に応じた居場所の確保はできている。	○	スペースは十分に確保しており、ホーム内の空間も落ち着いたものになっている。各入居者がその時の状況に応じて過ごせるよう居場所は保っている。
85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室に持ち込んで頂くものには特に制限は設けておらず、ダンスや卓、その他使い慣れた調度品の持込みをお勧めしている。	○	今後も今まで通りの対応を行いたい。
86	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気・空調設備は設置しており、常に稼働させている。室内温度も各居室・共用部分とも温度設定は入居者の状況によりこまめに調節している。	○	今後も今まで通りの対応を行いたい。
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
87	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	家具やベッド等、各居室内の調度品の配置は各入居者の状態に合わせ、安全かつ自立した生活ができるよう配慮している。	○	今後も今まで通りの対応を行いたい。
88	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各居室内の整理整頓は職員と一緒にいき、混乱・失敗を防ぐよう配慮している。	○	今後も今まで通りの対応を行いたい。
89	○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	各居室は全てベランダに面しており、センサーは設置しているものの出入りは自由となっている。ベランダにはプランターを置いており、植物の栽培を行っていて、入居者に水遣りなどを行ってもらっている。	○	今後も今まで通りの対応を行いたい。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
		○	④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない



項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
		○	④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			②少しずつ増えている
		○	③あまり増えていない
			④全くいない
100	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・ 基準以上の十分なスペースを確保しており、圧迫感がないゆったりとした住環境の中で過して頂いている。
- ・ 社会福祉法人傘下にあるため、認知症の進行やADLの低下に伴い、入居者の状態にあった施設{同法人傘下の介護老人保健施設(老健)や介護老人福祉施設(特養)}への利用移行をスムーズに行うことができる。
- ・ 通常、入浴・食事以外の日中のスケジュールは特に立てていないため、その日の入居者の状況や気分・機嫌を見ながらゆったりとした一日の過ごし方を組み立てている。
- ・ 立地条件もあり日常のこまめな敷地外への外出は出来ないが、バスハイクや外食・ドライブその他時候に合せた外出行事を可能な限り企画している。
- ・ 家族的な介護(支援)を常に実践できるよう取り組んでおり、ご家族様との連絡・連携を心掛けている。